るなら木造園舎」

めぶきの森幼保連携型認定こども園

園長 矢野 勅仁

# vol.12

Yoshida Architects Design Office

吉田建築計画事務所 一級建築士事務所

YOSHI

KEN

NEWS

ヨシケンニュース

# ぶきの森

群馬県富岡市

Ban 4444

## ■無料相談会のご案内 (要予約)

侑吉田建築計画事務所では自然素材を用

土・日・祝日、平日夜間は事前に御連絡 を頂ければ御対応いたします。

にとって理想の園舎なのです 複数の候補の中か

**した。群馬県とは縁が無かった** 田建築計画事務所に決定いたし 園の建て替えを初めて意識 の選定は木造園舎設 基本設計の前に ない 中で育つ

> 以前からそこに建っ ルの開放的な遊戯 養蚕農家のよ の大谷石

キの床と珪藻土の壁、

は老朽化が進みつつあった



『園児たちも参加した上棟式』

構造材の土台、柱、梁に群馬県産木材(桧・杉・唐松) を使用しています。お餅やお菓子をたくさんまきました。





工事名称/幼保連携型認定こども園めぶきの森新築工事

主/社会福祉法人 高太会

/群馬県富岡市妙義町下高田 144

積 / 835.13 ㎡ (252.63 坪)

延床面積 / 935.71 ㎡ (283.05 坪)

構造・用途 / 木造2階建・認定こども園

エ/2018年3月

◆ <sup>有限会社</sup> 吉田建築計画事務所

ファックス **™** 0120-922-416 0299-56-3248 info@iezukuri.co.jp

メールアドレス

吉田建築計画事務所

本社: 〒315-0001 茨城県石岡市石岡 I-I-8 TEL.029-56-3246 / つくば事務所: 〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-I-6 TEL.029-854-0203

詳しくは HP をご覧ください





# 午睡の時間



食事を終えた子どもか ら、保育室に移り着替 えをして、絵本を選ん で読んだりしながら、 午睡へ移行します。 食事と午睡の場所が 別なので自分のペー スで行動することがで きます。



自然を感じ共に育つ生活 この園舎のデザイン的特徴の一 採用された洋トラスを取り 製糸場」において、 り富岡市のシンボルである「富岡 踏襲しました。 また世界遺産であ 日本で初めて

風が通り、 土間といった日本民家の空通り、陽の温もりを感じる 復元して使用、壁は焼杉と石蔵を の地方で製造されていた十能瓦を 屋根瓦には、かつてこ

様々な体験・経験のできる環境づ を幾度も往来し、周囲の自然環境日常生活において、内部と外部 と触れ合いながら、年齢に応じた ちは自然素材の中で生活します。 りに配慮しています。 県産材ヒノキの床、 各室間を連続

け、子どもたちと調理の先生方が 関入って直ぐの遊戯室に面して設 食育の観点からも、調理室は玄 お互い顔の見える配置としました。け、子どもたちと調理の先生方が 杉の建具・家具など子供た 珪藻土

 $\mathcal{O}$ 大きな特徴です。

事を創造しながら計画しました。い環境が子供たちの原風景となる

子供たちの原風景として

幼保連携型認定こども園「めぶ の森」(旧妙義保育園 1981

群馬県で一番のこども園にした 園の理念である「子供は自然の を貫ける園をテー

側に妙義山を仰ぐ風光明媚な場所ら西へ数キロの場所で、敷地の西ました。世界遺産の富岡製糸場か

その麓には今では古民家と

まれた緩やかな丘陵地に計画され 年創立)は、豊かな自然環境に恵

建物は木造とし、構造材 華美でなく機能的な園舎に 意識出来るようにした 家具材などへ地域産木材を使用 造作材

語っています。こうした素晴らしつての地域の暮らしと歴史を物

独特な建築様式とその情景は、 なった養蚕農家の家々が点在し、

か

園児たちが地域の歴史や伝統を 調査しました。 間取りや構造・意匠、

配置などを

た。 けたスキ 斜地(高低差…2 m)の地形を活南から北に向って緩やかに下る傾 ポーションにとの考えから、 そして周囲の景観に馴染むプ 建物の床レベルを3層に分 敷地

# 地域の資源の活用

妙義山麓の集落を巡り伝統建築の風土にあった園舎としたいと思い、私は設計に当たり、地域の気候 『おやつの時間』

3・4・5 歳児のおやつの様子。陽 だまり空間の縁側で楽しくいただき

10:00

午前のおやつ

# ∞「めぶきの森の・

## 10:15 クラス別保育



縁側で靴を履いたり、帽子をかぶっ たりと園庭遊びの為の準備をしてい



0・1歳児の好奇心と体を動かす環境づ くり。畳スペースで読み聞かせ。一人ひ とりリラックスした姿勢で聞いています。 少人数保育でゆったりとした雰囲気です。



『0・1・2歳児の園庭と保育室をつなぐ広い縁側空間』

外への出入り口でもあり、強い日差しや雨を遮り、半屋外の楽しい遊びの場でもあり ます。時にはおやつを食べたり、お話を聞いたりも。床は群馬県産の桧材を使用し ており、とげやささくれが出ないよう滑らかに仕上げています。





「級建築士 良一

# 自然と触れ合うことは、五感を通じて豊かな感性や情緒が育まれるなど貴重な体験・経験の場となります。そうした生活を通して刻まれた記憶は、子どもたちのこれからの長い人生の中で、かけがえのない大切な思い出の場所となることでしょう。

# 重要なことです。 が、足や体に弾力性の高 豊かに育つ のびのび 子どもの育つ環境と

木造の園舎で

子どもたちの健康面にも優れてい邪などの感染率を抑える効果など、が高く、免疫力を高める効果や風が高く、木材は保温性や調湿作用 造の床や壁)であることはとて

転んだりが日常の子どもたちにの園舎を見直す」。ぶつかったり や壁)であることはとても体に弾力性の高い素材(木一日の大半を過ごす園舎 木造

自然と触れるうことで、乳140日ともたちにとって、乳



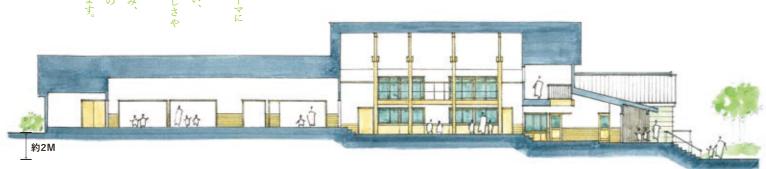


ほのかな木の香りなど 素材の持つシンプルな美 地域産木材と **羊内は豊かな自然を** どもたちの感性を育み

 $1 / 0 \cdot 1$  歳児室、家族的な安定した雰囲気が必要です。畳の部屋やトイレにも直接入れます。ゆっ たりとしたスペースで、保育士さんに見守られ、楽しく体を動かしながら遊べる環境をつくっています。 2/3・4・5歳児の保育室です。保育方針と深く関わってくる家具、ロッカー、備品もすべて県産杉 材を使用したオーダーメイドで作りました。

 $3 / 0 \cdot 1$  歳児の広々とした円形型のトイレは、淡いグラデーションのモザイクタイルと薄いベージュ の明るい色の床で、楽しい雰囲気をつくっています。

4/子ども達を迎えるエントランスホールは吹き抜けから、自然光が差し込みます。



敷地の傾斜(高低差2メートル)を活かした段差のある変化に富んだ室内空間

